

島原地域広域市町村圏組合第8期介護保険事業計画作成委員会（第2回）議事録

開催日時	令和2年10月17日（土）午後1時55分から午後3時50分まで
開催場所	島原市役所有明庁舎3階 大会議室
出席委員 （敬称略）	生田忠照、深堀善彰、中村哲康、徳永清治、菅喜郎、大田雄三、神崎啓太郎、高柳公司、荒木唱子、松藤嘉嗣、林田智志、小峯克彦、久間雅文、平辻心、明島章也、岩永みゆき、石川佳夫、鶴殿妙、中村まり子 以上19名
欠席委員 （敬称略）	松坂誠應 以上1名
オブザーバー	尾藤正則（島原市福祉保健部長）、東裕実（雲仙市健康福祉部長）、林田充敏（南島原市福祉保健部長）、堀浩明（島原地域広域市町村圏組合事務局長） 以上4名
事務局	松本直樹（介護保険課長）、井村栄治（課長補佐兼総務企画係長）、鬼山博久（課長補佐兼給付係長）、菅幸也（業務係長）、吉永真介（認定係長）、中村志保（地域支援係長）、塩田真大（総務企画係主事）、伊藤大真（総務企画係事務員） 以上8名
委託業者	廣田平（株式会社ぎょうせい 研究員） 1名
傍聴者	0名
議事	(1) 第1回作成委員会における各委員からの質問等に対する回答について (2) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査の結果報告について (3) 第8期介護保険事業計画案の現時点全体像について (4) 介護保険事業の現状 (5) 現時点で想定される論点（地域密着型サービス運営委員会）について (6) 現時点で想定される論点（地域包括支援センター運営協議会）について

配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第、配布資料一覧、委員名簿、席次表 ・ 【資料1】 第1回作成委員会における各委員からの質問等に対する回答について ・ 【資料2】 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査結果の概要について ・ 【資料3】 第8期介護保険事業計画案の現時点全体像について ・ 【資料4】 介護保険事業の現状 ・ 【資料5】 現時点で想定される論点（地域密着型サービス運営委員会）について ・ 【資料6】 現時点で想定される論点（地域包括支援センター運営協議会）について ・ 【当日配布】 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査報告書 ・ 【当日配布】 在宅介護実態調査報告書
------	---

1 開会

【会長】

ただ今より第2回介護保険事業計画作成委員会を開催する。

本日の会議は主に、事務局が実施した調査結果の報告や、専門部会において協議された論点について、委員の皆様から御意見を求めたいと思うのでよろしくお願ひします。はじめに、介護保険課長に御挨拶をお願いします。

2 介護保険課長挨拶

介護保険課長より挨拶

3 議事

【会長】

議事（1）「第1回作成員会における各委員からの質問等に対する回答について」事務局から説明をお願いします。

【事務局】

資料1「第1回作成委員会における各委員からの質問等に対する回答について」を基に説明。

【会長】

委員から意見はないか。

（委員からの質問・意見なし）

【会長】

7 ページの高齢独居世帯の割合と認定率のグラフについて、島原広域として分析されているが、島原市・雲仙市・南島原市の 3 市で分けて出せば興味深いデータが出ると思うので、今後、このようなデータがあれば教えていただきたい。

【会長】

続いて、議事（2）「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査の結果報告について」事務局から説明をお願いします。

【事務局】

資料 2 「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査結果の概要について」を基に説明。

【会長】

委員から意見はないか。

(委員からの質問・意見なし)

【会長】

続いて、議事（3）「第 8 期介護保険事業計画案の現時点全体像について」事務局から説明をお願いします。

【事務局】

資料 3 「第 8 期介護保険事業計画案の現時点全体像について」を基に説明。

【会長】

委員から意見はないか。

(委員からの質問・意見なし)

【会長】

3 ページで「社会保障審議会での議論を踏まえ、必要に応じてこの全体像の再検討を行う。」とあるが、国の方針が決まらないと最終的に決まらないということか。

【事務局】

そのとおりである。

【会長】

続いて、議事（４）「介護保険事業の現状」について事務局から説明をお願いします。

【事務局】

資料４「介護保険事業の現状」を基に説明。

【会長】

委員から意見はないか。

(委員からの質問・意見なし)

【会長】

続いて、議事（５）「現時点で想定される論点（地域密着型サービス運営委員会）」に移るが、こちらについては、設問ごとに委員の皆様から御意見をお伺いし、意見の集約を行う。

それでは、（１）新計画の基本理念等について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

資料５「（１）新計画の基本理念等」について説明。

【会長】

委員から意見はないか。

(委員からの質問・意見なし)

【会長】

続いて、（２）「健康長寿のまち」の実現に向けた取組みの方向性について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

資料５「（２）「健康長寿のまち」の実現に向けた取組みの方向性」について説明。

【会長】

委員から意見はないか。

(委員からの質問・意見なし)

【会長】

京都市のポイントを貯めてプレゼントに応募できる取組みは面白いと思う。
ポイントが商品券になれば、頑張る方も増えるのではと思うが、事務局ではそのような検討はされているか。

【事務局】

商品券については検討していない。京都市が商品券を対象にしているかは調べていないため分からない。先進地の取組みを調べてみて参考にしたい。

【会長】

続いて、(3) 在宅生活継続のための支援のあり方について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

資料5 「(3) 在宅生活継続のための支援のあり方」について説明。

【会長】

委員から意見はないか。

(委員からの質問・意見なし)

【会長】

続いて、(4) 医療と介護の連携について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

資料5 「(4) 医療と介護の連携」について説明。

【会長】

委員から意見はないか。

【委員】

「介護保険施設や有料老人ホーム等で看取りが行われるケースが少ない。」と説明があったが、特別養護老人ホームでは看取りが進んでいると思っているが、この説明は、特養までを入れた分と理解してよいか。

【事務局】

この傾向は、全国と長崎県の傾向であったので、そのまま事務局案としたが、いただいた御意見を計画に反映していきたいと思う。

【会長】

補足として、雲仙市ではまだ看取りの体制が出来ていないということで、在宅医療・介護連携推進協議会において、施設での看取りをテーマに研修会を開催している途中である。データとして、雲仙市は他市と比べて在宅の看取りの件数が少なく、それで平均が下がっているのではないかと思われる。

【委員】

介護老人保健施設でも看取りの数が増えていると思っている。具体的な件数を調査していただければ、多いのか少ないかの評価が出来ると思うのでよろしく願います。

【会長】

続いて、(5) 人材の確保・育成について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

資料5「(5) 人事の確保・育成」について説明。

【会長】

委員から意見はないか。

(委員からの質問・意見なし)

【会長】

続いて、(6) 就労的活動支援コーディネーターについて、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

資料5「(6) 就労的活動支援コーディネーター（基本指針（案）のみ）」について説明。

【会長】

委員から意見はないか。

(委員からの質問・意見なし)

【会長】

続いて、(7) 第7期計画期間中の基盤整備の状況と今後の方向性について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

資料5「(7) 第7期計画期間中の基盤整備の状況と今後の方向性」について説明。

【会長】

委員から意見はないか。

(委員からの質問・意見なし)

【会長】

続いて、(8) 有料老人ホームとサービス付き高齢者向け住宅に係る長崎県との情報連携の強化について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

資料5「(8) 有料老人ホームとサービス付き高齢者向け住宅に係る長崎県との情報連携の強化（基本指針（案）のみ）」について説明。

【会長】

委員から意見はないか。

(委員からの質問・意見なし)

【会長】

続いて、(9) 災害や感染症対策に係る体制整備について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

資料5「(9) 災害や感染症対策に係る体制整備（基本指針（案）のみ）」について説明。

【会長】

委員から意見はないか。

【委員】

災害に対する備えの検討について、今年、熊本県人吉市の特別養護老人ホームで災害があり、数年前も岡山県や広島県でもあったが、共通することは土砂災害警戒区域に指定されている場所であって、今後また他の地域で起こる可能性がある。

島原市はハザードマップがあり、島原市の地図にハザードマップを被せると介護施設が被る所があるが、今後どのようにされていくか。

今までの避難計画で済むものなのか、災害が起きた場合に想定外とは言われない状況である。

【事務局】

今後、国から示される指針といただいた意見を基に検討していきたい。

【委員】

島原市は災害の町であり、普賢岳の噴火で災害が起きていて、土石流が起こる可能性も十分にある。国の指針に頼らずに、島原市独自で取り組まないと万が一災害が起きた場合は、土砂災害危険区域にある介護施設についてどのように市が責任を持っていくのか。明らかに前例があることなので、国に頼らず、市で独自に取り組んでいったらどうかと思う。

【事務局】

国から示されると思うがレベルがあると思うので、それに独自のレベルを加えるかどうか検討していきたいと思う。

【会長】

市では、災害のマニュアルを作るということで、各施設を周ってきているはずであり、津波と土石流等の災害に対するマニュアルを作るようになっていると思う。

この件については、市が責任を持ってやっていただいているし、やらないといけないことであると思う。

【委員】

人吉市の件でいうと、災害時のマニュアル策定は十分されていたそうである。

危ないと思った時には危険がきて、避難訓練だけではそのような地域では難しいので、警報が出る前に体制を作っておかないと中々難しい。被害があった特養は14人亡くられていて、廃止になっている。

【会長】

今話を踏まえると、新しく認可する福祉施設は、ハザードマップ上に入っている場合は、なるべく許可をしないという方針でされた方が良くもしいない。

【委員】

民間で市の許可を得られない場所でも、そのような調査が必要であると思う。

【委員】

今年の台風10号の際には、災害と感染症が両方きた。台風10号は超大型ということで、一般市民の方もホテルに避難する厳戒態勢であった。

面会制限をしている施設としては、人の出入りを制限している中で、高齢者のショートステイ利用を急に受け入れるのは難しいと断られた方がいた。

介護度が高い方でも、一般の避難所に避難せざるを得ないケースもあっている。

災害対策はもちろんだが、感染症対策と両方一緒に考えていただきたいのと、保険者や保健所、医療機関との連携については、島原半島は3市にまたがっていること、また島原広域の管轄が居宅介護支援と地域密着型サービスであり、他は県の管轄であるので、県との連携もあると思う。

国からの指示を待つことも必要であると思うが、島原半島モデルのような地域性に応じた連携の仕方があってよいのではと思うので、広域がリーダーシップと連携をとっていただきたい。

【会長】

県南保健所がこのあたりの管轄になると思うが、どのような考え方をしているか。

【委員】

先日、管内3市の健康づくりの部署と新型コロナウイルス感染症対策を踏まえて、今後どのようにしていくか話し合いの場を設けた。

その中で避難所の話題もあり、台風10号の時は避難所の設営と運営に追われ、感染症への対応について余裕がなかったという課題も挙げられている。

保健所としても、相談があれば皆様と一緒に考えていきたいと思っている。

【会長】

県と市のギャップを埋めるのは行政としても難しいと思うので、すぐには解決できないと思うが今の御意見でよろしいか。

【事務局】

台風10号の話し合いは、国においても厚生労働省だけではなく、国土交通省も併せたワーキングチームで対策を練られている。

随時資料も出てきているので、それも反映していきたいと考えている。

また、長崎県と施設3団体で、感染症が発生した場合の協力体制作りが検討されているそうなので、その辺りも見えてきたら資料として考えたい。

【委員】

縦割りを崩すのは難しいと思うが、出来ないと言うのではなく、出来る方法を考える必要があるのではと思う。

【会長】

他になれば、時間が長くなったので、5分間の休憩を取る。

(5分間休憩)

【会長】

最後の議事となる。議事(6)「現時点で想定される論点(地域包括支援センター運営協議会)」について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

資料6「(3)介護予防・日常生活支援総合事業のあり方(「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」を含む。)」について説明。

※(1)新計画の基本理念等と(2)「健康長寿のまち」の実現に向けた取組みの方向性については、議事(5)と重複するため省略。

【会長】

委員から意見はないか。

(委員からの質問・意見なし)

【会長】

続いて、(4)複雑化・多様化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制の構築について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

資料6「(4)複雑化・多様化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制の構築」

について説明。

【会長】

委員から意見はないか。

(委員からの質問・意見なし)

【会長】

続いて、(5) ひとり暮らしの高齢者等の安心感の醸成について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

資料6「(5) ひとり暮らしの高齢者等の安心感の醸成」について説明。

【会長】

委員から意見はないか。

(委員からの質問・意見なし)

【会長】

続いて、(6) 認知症高齢者に関する施策拡充の必要性について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

資料6「(6) 認知症高齢者に関する施策拡充の必要性(チームオレンジの設置を含む。)」について説明。

※(7) 医療と介護の連携と(8) 災害や感染症対策に係る体制整備(基本指針(案)のみ)については、議事(5)と重複するため省略。

【委員】

オレンジカフェに参加しているが、「どう生きるか」という話合いが出来るくらい良いところだと思っているが、認知度がなかなか普及していないのではと感じる。

参加者が増えないという現状もあり、どのようにPRされていくのか。

認知症の方や介護をされている方は、ひとり暮らしの方が多く、オレンジカフェが充実してくれば、友達づくりも出来て、意見交換をすることも出来る。現在2か所でされているが、予算が許されるなら拡充していけば予防に繋がっていくのではと考えているがどうか。

【事務局】

現在、各市2か所ずつの計6か所設置しているが、いただいた意見を参考に、カフェの在り方を検討していければと思っている。

【委員】

もう一点、(5)高齢者の安心感の醸成にも繋がるが、新型コロナウイルス感染症が流行る前は、介護予防ファンクラブバスツアーなど色々なことを計画されていたが、今は出来ない状況であると思うが、楽しく生きるということを介護保険でもやっていただいて嬉しかった。今後新型コロナウイルス感染症が長く流行した場合、元気な人に対する介護保険からのアプローチをどのようにされていくのか。

せっかく構築されたものが実施されていないではと感じたがどうか。

【事務局】

新型コロナウイルス感染症が流行する前と同じようには出来ない現状にあるが、介護予防教室など、対策をしながら実施している。

今後も、対策を踏まえながら取り組んでいきたい。

【会長】

他に御意見はないか。

本日の委員会で出た意見については、事務局で集約をお願いします。

以上で本日の議題はすべて終了となる。その他として、事務局から連絡をお願いします。

4 その他

【事務局】

次回開催日を案内（令和2年11月21日）

【会長】

委員からの意見はないか。

(委員から意見なし)

5 閉会

【会長】

以上をもって、第2回第8期介護保険事業計画作成委員会を閉会する。